

ごあいさつ

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。このたび、当行では皆さまに一層のご愛顧を賜りたく、平成28年度の業績や取組みなどについてご説明した「筑邦銀行ディスクロージャー誌ちくぎん2017」を作成いたしました。ご一読いただき“ちくぎん”を身近に感じていただければ幸いです。

昨年度の日本経済は、個人消費の一部に弱い動きがみられたものの、政府の経済対策などから企業収益や雇用情勢が改善し、全体としては緩やかな回復の動きが続きました。一方、海外景気は、米国経済が概ね好調を維持したものの、欧州や中国では景気の下振れ懸念など不透明な状況が続きました。

金融情勢につきましては、前半は英国のEU離脱問題などによる円高や日本銀行の追加緩和期待による長期金利低下がみられましたが、昨年11月以降は、米国大統領選挙の結果により円安、株高の動きとなりました。

こうした中、当行は平成27年4月より、「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」というスローガンを掲げ、「中期経営計画2015」（計画期間平成27年4月～平成30年3月）に取り組んでおります。

地域を興すためには自治体、地元企業とともに、銀行が主体的に企画段階から構想に関わり、コンサルティング機能を発揮することが必要です。常にどうすれば地元経済の活性化に貢献できるかを第一に考え、融資のみならず、地域の活性化につながる様々な取組みを行うことが不可欠であります。

また、福岡に近いアジア各国の経済成長力をいかに域内に取り込むかという視点も重要です。会員数が1,600を超えるちくぎん地域経済研究所（CRI）とともに、中国大連に拠点を持つ株式会社アジア福岡パートナーズとの連携を強化し、お客さまの海外取引や海外進出支援に取り組んでおります。

当行は今後も、お客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地銀そのものが地方の有力な金融サービス産業であるとの認識の下、堅実経営を遵守し、地域創生と地域経済の活性化に尽力してまいります。

今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成29年7月



頭取 佐藤 清一郎